

市長コメント

本日、佐世保市とカーニバルコーポレーションが、国土交通省に連名で応募していた「官民連携による国際クルーズ拠点」に佐世保港が選定されたとの連絡をいただきました。

本市は、これまで国際観光の活性化と観光都市機能の強化を図るため、三浦地区にクルーズ客船の誘致を促進して参りました。今回の選定は、「アジアのゲートウェイとして、多くのクルーズ船を受け入れる計画であること」などが評価されたものです。

なお、佐世保市と連名で応募したカーニバルコーポレーションは世界最大のクルーズ船社でございます。佐世保港とカーニバルコーポレーションが共に目指す、年間100万人のクルーズ乗船客の誘致は、政府が掲げる「2020年訪日クルーズ外国人旅行者数500万人」の実現に大きく貢献するだけでなく、本市の経済活性化や新たな投資を呼び込む絶好の機会になるものと考えており、将来、佐世保港が東アジアからのゲートウェイ機能を有する日本有数の国際クルーズ拠点として発展していくことを確信しております。

今後とも、皆様方のご理解とご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

平成29年1月31日

(佐世保市港湾部)

【主な経緯】

- 平成 26 年 6 月 観光立国推進閣僚会議において「2020 年クルーズ 100 万人時代」の実現を目指す『観光立国実現に向けたアクションプログラム 2014』が決定
- 平成 27 年 クルーズ船による外国人入国者数 111.6 万人
- 平成 28 年 3 月 内閣総理大臣を議長とした『明日の日本を支える観光ビジョン構想会議』において、2020 年訪日クルーズ旅客を 500 万人とする「クルーズ船受入の更なる拡充」が決定
- 平成 28 年 9 月 国土交通省が「官民連携によるクルーズ拠点形成検討委員会」を設置
- 平成 28 年 10 月 7 日 官民連携による国際クルーズ拠点形成計画書の募集開始
- 平成 28 年 12 月 20 日 計画書の応募締切り
- 平成 29 年 1 月 11 日 計画書に基づく、プレゼンテーション
- 平成 29 年 1 月 31 日 「官民連携による国際クルーズ拠点」選定結果の公表

【佐世保港】官民連携による国際クルーズ拠点に向けた取り組み

1. 概要

- 連携クルーズ船社 カーニバル・コーポレーション&plc (以下「カーニバル社」)
- 運用開始目標年 2020年4月(予定)
- 目標寄港回数 【2020年(H32):200回】 【2024年(H36):300回】
- 優先権の付与期間 20年(2020年から2039年まで)

三浦地区

- ・供用開始時期:2018年7月(予定)



浦頭地区

- ・供用開始時期:2020年4月(予定)

